



発行：がん診療推進委員会 発行元：がん診療支援室



会社と主治医間の情報連絡シートの活用

がん診療支援室 社会福祉士 寺村 育美

5月のカンサーボード・ミニレクチャーは、滋賀産業保健総合支援センター所長の中西一郎医師をお招きし、『会社と主治医間の情報連絡シート』の活用についてご講義いただきました。これは、がんに限らず、病気で休んでいた従業員が復職するときに、会社側がその従業員の体力や健康状態に応じて、配慮すべき内容について、主治医に意見を求める際に使用するツールです。

産業医が配置されている大企業の場合、こういったツールは必要ないのですが、産業医がいない会社でも、主治医との連携ができ、円滑に復職できることが目的です。復職にあたって、何を配慮するかは会社の責任であり、このツールはあくまで会社主導のものとなっています。主治医の負担を考慮して、該当項目に○を付ける形式のものとなっていますが、すべての職種に共通するものではないので、特記が必要な場合もあります。

2012年にがんと診断されたすべての患者のうち、約3人に1人が20～64歳の働く世代です。病気を抱えながらも、意欲・能力のある労働者が仕事を理由に治療機会を逃すことなく、また、治療の必要性を理由として仕事の継続を妨げられることなく、いきいきと働き続けられる社会を目指す取り組みの一貫として、このツールが活用されつつあります。

私たちが、このツールの持つ意味を知り、必要性を理解することが、患者さまのQOLの向上につながっていきます。

患者さまがこの連絡シートを持参された際は、書類窓口へ提出するよう案内してください。
不明な点は、下記のがん相談窓口へお尋ねください。



★ がん相談窓口を ご紹介ください ★

2号館 1階 がん診療支援室
平日 9時～16時 (相談無料)
問い合わせ: 68-3389 (ささやく)

- ・どなたでも利用できます。
- ・がん冊子やインターネット検索のできる情報コーナーもあります。



院外・院内研修のお知らせ

★湖北がんフォーラム2017

7月23日(日) 13:30～16:30 長浜文化芸術会館ホール

★医師向け緩和ケア研修(拠点病院にて開催)

県は、医師の受講100%をめざしています。

未受講の先生は、今年度中に必ず受講をお願いします。

★緩和ケアランチョンセミナー

7月12日(水) 12:30～

「NURSEを用いたコミュニケーションスキル」 垣見 CN

★カンサーボード

7月24日(月) 17:30～ 泌尿器科担当

みなさん ご参加ください